



朝十小だより

継承とさらなる発展、新たな挑戦

～ 豊かな学びで喜びと笑顔あふれる朝霞十小 ～

朝霞市立朝霞第十小学校

発行日 令和3年6月1日

〒351-0023

朝霞市大字溝沼828番地の1

TEL 048-469-5443

在籍児童数 689名

不 易 流 行

校長 宮澤好春

雨に紫陽花の花が鮮やかに映える季節となりました。1学期も折り返し地点を迎え、「まん延防止等重点措置」が発出されている中ですが、学びを止めないよう感染症対策を行いながら教育活動を展開しています。5/20(木)・21(金)には修学旅行を実施し、6年生は2日間常にしおりを見て行動し最高学年としての自覚と責任を持って取り組んでくれました。5/31(土)は、授業参観は中止とさせていただきますが、災害等緊急時の対応の確認のため「引取訓練」は実施させていただきました。訓練の趣旨に御理解と御協力を賜りありがとうございました。その他にも縦割り活動や新体力テスト等も取り組むことができました。



さて、今月は学校における「不易流行」について触れたいと思います。「不易流行」とは、「蕉風(しょうふう)俳諧の理念の一つで、一説には俳諧には不易(永遠に変わらぬ本質的な感動)と流行(ときどき新味を求めて移り変わるもの)とがあるが、不易の中に流行を取り入れていくことが不易の本質であり、また、そのようにして流行が永遠性を獲得したものが不易であるから、不易と流行は同一であると考えるのが俳諧の根幹である」とする考え方。では、学校における「不易」とは、教育課程に位置付けられた各教科の授業をはじめ、特別活動の各種行事、道徳教育等の教育活動であると考えます。だからこそ、コロナ禍ではありますが、教育活動を止めることがないよう、感染症対策を取りながら授業をはじめ様々な行事を通して「豊かな学び」を保障してきています。また、学校は安心・安全な場所でなければなりません。そのために、子供たちが安心して学校に通うことができるよう「いじめ」や「不登校」といった緒課題の解決や施設・設備の事故防止、危機管理マニュアルの見直し、各種非常時の対応・避難訓練等にも取り組んでいます。授業規律をはじめ、挨拶、廊下歩行、無言清掃、かかと揃え等の「基本的な生活習慣」や「規律ある態度」の指導も学校における「不易」の一つです。

一方、学校における「流行」とは、昨今の教育改革の中で国や県が推進している取組等の教育活動を指すと考えます。例えば、「GIGAスクール構想」による「一人1台のタブレット端末」の導入、「新しい時代の学びの環境の整備」の一環として「35人学級」の導入、家庭・地域の教育力向上の施策として「コミュニティ・スクール」の設置の推進等々の取組が始まっています。本校においても、中学年以上では教室でタブレット端末を活用し、調べ学習をしたり調べたことをまとめたりする学習が始まっています。また、「新学習指導要領」の本格実施2年目を迎え、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善も進んでいます。さらに、「35人学級」にともなう学級増に向け、現在更衣室等で使用している部屋を普通教室に戻すための準備を始めます。今年度から「学校運営協議会」を設置し、コミュニティ・スクールとして新たなスタートを切りました。委員や保護者、地域の皆様には、本校の教育活動を大所高所から見ていただき、「地域とともにある学校」づくりに向けて、お力添えをお願いいたします。



このように、大きな教育改革の流れの中で、「不易」の部分は引き続き充実させていくことが必要ですし、「流行」の部分は、単なる流行りで終わらせるのではなく、「流行」が「不易」に昇華するよう工夫や改善を加え、不易の中に流行を取り入れ、学校における「不易の本質」を追求していきたいと考えます。



5/7 1・2年学校探検



5/7 離任式



5/24 縦割りの活動



5/20 6年修学旅行